



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 トランス・コスモス株式会社
 コード番号 9715 URL <https://www.trans-cosmos.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 奥田 昌孝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務本部長 (氏名) 野口 誠
 四半期報告書提出予定日 2020年2月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-4363-1111

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	230,092	10.3	7,794	169.5	7,700	142.4	6,116	2.0
2019年3月期第3四半期	208,646	7.1	2,892	△32.1	3,176	△14.0	5,994	321.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 4,007百万円 (△52.2%) 2019年3月期第3四半期 8,389百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	147.48	—
2019年3月期第3四半期	144.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	138,690	77,731	53.3	1,781.78
2019年3月期	135,268	74,915	52.9	1,725.27

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 73,899百万円 2019年3月期 71,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の配当予想は未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】P. 3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	48,794,046 株	2019年3月期	48,794,046 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	7,319,002 株	2019年3月期	7,318,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	41,475,165 株	2019年3月期3Q	41,475,544 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料は2020年1月31日(金)に当社ウェブサイトに掲載します。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善、企業収益や設備投資の増加などを背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方、先行きについては、米中貿易摩擦の動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱問題などに伴う世界経済への影響懸念などから、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが展開するサービスを取り巻く環境は、労働人口の減少、企業のグローバル化、IoT・AIをはじめとしたデジタル技術の進展などを背景に、引き続き、業務の効率化やコスト競争力の強化、売上拡大などに繋がるアウトソーシングサービスの需要が拡大しています。このような状況の中、当社グループは、日本および中国・韓国を中心としたアジア市場でDECサービス・BPOサービスを積極的に展開し受注の増加につなげました。また、受注業務の採算性改善や高収益案件の獲得などにより収益性が改善しました。さらに、国内外におけるサービスの競争力強化に向けて、引き続きデジタル技術などを活用したサービスの開発や品質の向上、サービス体制の強化などの取り組みに注力しています。

DECサービス領域では、主にサービスの開発・提供を推進しました。具体的には、お客様企業におけるLINE公式アカウントのメッセージ配信最適化を支援するため、AIを活用した独自の成果予測システム「transcosmos WHITE BASE (トランスコスモス ホワイトベース)」の提供を開始しました。また、AIで“将来のLTV (Life Time Value : 顧客生涯価値)”を予測して新規顧客獲得を効率化するサービス「KAGARI (カガリ)」を自社開発・提供開始しました。さらに、Quartile LLC (クォータイル エルエルシー) と業務提携し、Amazonでの商品販売に関連する事業者を対象に、AIや機械学習を活用したAmazon広告マネージドプラットフォーム「Quartile (クォータイル)」の提供を開始しました。

BPOサービス領域では、主にサービス体制の強化を図りました。具体的には、株式会社大林組と、当社、応用技術株式会社で、BIM (Building Information Modeling) を設計から生産設計、施工管理などで一貫して利用できる情報基盤の構築に向けて、共同で検討するアライアンスを締結しました。また、ITアウトソーシングサービス事業のフラッグシップセンターとして、北海道札幌市に新たなオペレーション拠点「BPOセンター札幌狸小路」を開設しました。

海外では、韓国において、Webサイトの制作と開発を行う「マーケティングコミュニケーション韓国センター (MC 韓国センター)」を新たに開設し、日本語対応の可能なメンバーが日本と同水準の品質でWebサイト運用サービスの提供を開始しました。中国においては、中国子会社が「Alibabaデータバンク認証サービス企業」の認証を取得しました。これにより、データバンクを通じて、Alibabaのネットサービス上のすべての販売・広告チャネル、お客様企業のデータを活用したユーザー動向の把握、動向分析によるマーケティング活動の支援を実施することが可能となり、ブランドデータバンクを活用した分析、マーケティングサービスを提供していきます。また、需要拡大が見込まれるインバウンド (訪日外国人旅行者) 向けデジタル広告・海外人材採用広告サービスなどの販売強化に向けて、マレーシアに「グローバルデジタルマーケティングセンター」を開設し、多言語の広告運用・クリエイティブ制作・現地向けソーシャルメディア運用などを行う「海外多言語広告運用サービス」の提供を開始しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高230,092百万円となり前年同期比10.3%の増収となりました。利益につきましては、売上高の増加および収益性の改善などにより、営業利益は7,794百万円となり前年同期比169.5%の増益、経常利益は、7,700百万円となり前年同期比142.4%の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年同期に計上した「関係会社株式売却益」の反動減で特別利益が大幅に減少しましたが、営業利益の増益等の影響で、6,116百万円となり前年同期比2.0%の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(単体サービス)

当社におけるアウトソーシングサービスの需要拡大などにより、売上高は169,577百万円と前年同期比8.9%の増収となりました。セグメント利益は、受注業務の採算性改善や販管費率の低下による収益性の改善により5,916百万円と前年同期比137.7%の増益となりました。

(国内関係会社)

国内関係会社につきましては、上場子会社をはじめ受注が好調に推移したことや新規連結子会社の影響で、売上高は20,330百万円と前年同期比35.1%の増収となり、セグメント利益につきましては、上場子会社の収益性改善な

どにより1,134百万円と前年同期比192.0%の増益となりました。

(海外関係会社)

海外関係会社につきましては、中国、韓国、東南アジアにおける受注が好調に推移し、売上高は47,551百万円と前年同期比8.2%の増収となり、セグメント利益は、中国オフショア事業の収益性改善などの影響により757百万円(前年同期はセグメント利益13百万円)と大幅な増益となりました。

なお、セグメント利益につきましては、四半期連結損益計算書における営業利益をベースにしております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,421百万円増加し、138,690百万円となりました。これは、借入金の返済等により「現金及び預金」は減少しましたが、「受取手形及び売掛金」や流動資産の「その他」に含まれている短期貸付金などが増加したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べて605百万円増加し、60,959百万円となりました。これは、「1年内返済予定の長期借入金」は減少しましたが、「未払費用」や「買掛金」などが増加したことが主な要因であります。

純資産の部につきましては、2,816百万円増加し、77,731百万円となり、自己資本比率は53.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期については、引き続きお客様企業の売上拡大・コスト最適化といったニーズに対し、より適合したサービスの創出に注力するとともに、アジア市場を中心としたグローバルで事業展開を加速させ、前期実績を上回る業績を確保することを目指します。

なお、当社グループの事業は、あらゆる業種・業界のお客様との取引で成り立っており、変化の激しい経済環境の中、短期的な視点で企業活動の動向を見極めることは大変困難であります。よって、当社グループの2020年3月期連結業績予想については、合理的な算定ができないため記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,032	30,893
受取手形及び売掛金	44,746	46,270
商品及び製品	2,850	3,521
仕掛品	1,090	1,431
貯蔵品	48	56
その他	5,324	8,939
貸倒引当金	△258	△254
流動資産合計	89,835	90,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,851	5,032
工具、器具及び備品（純額）	3,877	4,036
土地	831	819
その他（純額）	837	1,261
有形固定資産合計	10,398	11,151
無形固定資産		
のれん	417	1,096
ソフトウェア	2,538	2,783
その他	577	956
無形固定資産合計	3,534	4,836
投資その他の資産		
投資有価証券	8,737	8,205
関係会社株式	6,782	5,904
関係会社出資金	5,948	6,851
繰延税金資産	1,785	1,692
差入保証金	7,638	8,396
その他	1,130	1,134
貸倒引当金	△522	△340
投資その他の資産合計	31,501	31,845
固定資産合計	45,433	47,832
資産合計	135,268	138,690

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,554	12,570
短期借入金	1,763	894
1年内償還予定の社債	7	14
1年内償還予定の転換社債型 新株予約権付社債	—	10,009
1年内返済予定の長期借入金	1,758	115
未払金	5,319	5,123
未払費用	14,446	15,715
未払法人税等	2,323	1,892
未払消費税等	4,031	4,831
賞与引当金	3,793	2,731
その他	3,124	3,311
流動負債合計	48,121	57,210
固定負債		
社債	25	61
転換社債型新株予約権付社債	10,017	—
長期借入金	96	1,320
繰延税金負債	1,261	1,081
退職給付に係る負債	26	296
その他	804	989
固定負債合計	12,232	3,748
負債合計	60,353	60,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,065	29,065
資本剰余金	17,755	17,785
利益剰余金	36,261	41,009
自己株式	△15,235	△15,236
株主資本合計	67,847	72,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,470	3,936
為替換算調整勘定	△761	△2,662
その他の包括利益累計額合計	3,708	1,274
新株予約権	3	3
非支配株主持分	3,355	3,828
純資産合計	74,915	77,731
負債純資産合計	135,268	138,690

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	208,646	230,092
売上原価	174,477	189,793
売上総利益	34,169	40,299
販売費及び一般管理費	31,277	32,504
営業利益	2,892	7,794
営業外収益		
受取利息	58	89
受取配当金	125	18
為替差益	—	31
投資事業組合運用益	518	—
助成金収入	107	118
その他	155	140
営業外収益合計	965	398
営業外費用		
支払利息	25	40
持分法による投資損失	428	228
為替差損	31	—
その他	195	223
営業外費用合計	681	493
経常利益	3,176	7,700
特別利益		
投資有価証券売却益	299	1,784
関係会社株式売却益	6,664	—
その他	203	85
特別利益合計	7,167	1,869
特別損失		
固定資産除却損	14	53
減損損失	35	22
関係会社株式売却損	48	—
段階取得に係る差損	—	47
その他	92	52
特別損失合計	190	175
税金等調整前四半期純利益	10,153	9,394
法人税、住民税及び事業税	2,686	2,733
法人税等調整額	1,365	175
法人税等合計	4,051	2,908
四半期純利益	6,102	6,485
非支配株主に帰属する四半期純利益	108	368
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,994	6,116

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	6,102	6,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,210	△576
為替換算調整勘定	△525	△1,419
持分法適用会社に対する持分相当額	△397	△481
その他の包括利益合計	2,287	△2,477
四半期包括利益	8,389	4,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,360	3,682
非支配株主に係る四半期包括利益	28	324

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	国内 関係会社	海外 関係会社	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	155,365	12,537	40,743	208,646	—	208,646
セグメント間の内部 売上高または振替高	286	2,509	3,185	5,982	△5,982	—
計	155,652	15,047	43,928	214,628	△5,982	208,646
セグメント利益	2,489	388	13	2,890	1	2,892

(注) 1 セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	国内 関係会社	海外 関係会社	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	168,998	17,370	43,723	230,092	—	230,092
セグメント間の内部 売上高または振替高	578	2,959	3,828	7,366	△7,366	—
計	169,577	20,330	47,551	237,459	△7,366	230,092
セグメント利益	5,916	1,134	757	7,808	△13	7,794

(注) 1 セグメント利益の調整額△13百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。